

小金井市施設ごみゼロ化行動実施計画

計 画 年 度	令和7年度	部 会 名	本庁舎ごみゼロ化行動推進部会
会 長 名	(職名) 管財課長		(氏名) 深澤 亘
対象とする施設名称	本庁舎・本町暫定庁舎		
廃棄物の減量目標	令和4年度排出量実績から654kgの減量		
資源化率の目標	93%		
計画年度における取組			
<p>1 令和7年度廃棄物減量目標</p> <p>(1) 廃棄物の減量目標 令和4年度廃棄量実績の6%削減 10,898kg ⇒ 10,244kg</p> <p>(2) 廃棄物の資源化率の目標 令和4年度実績の6.0%増 87% ⇒ 93%</p> <p>2 ごみゼロ化実施計画目標を達成するための具体的な取り組み</p> <p>(1) 紙資源の発生抑制、分別、再利用</p> <p>① 文書の共有化を推進する。</p> <p>② 電子メールの使用など紙を使わない方策をとる。 (事務報告書、予算事項別明細書等、定期刊行物のペーパーレス化(PDF化)の推進と合わせ、印刷は必要最小限度に止めること)</p> <p>③ 使用済みの紙・ミスプリント紙等の裏紙再利用を徹底する。</p> <p>(2) 食事及び食事容器等の発生抑制</p> <p>① 割りばしは使用せず、マイはし、マイスプーン、マイフォーク、マイバッグ等を使用する。</p> <p>② 弁当箱がごみになるようなものは極力買わないようにする。</p> <p>③ マイボトルを使用する。ペットボトルは極力持ち帰る。</p> <p>④ 弁当箱の容器等は買った店に返却する、または極力持ち帰る。</p> <p>⑤ 食べ切ることのできる量を購入し、食品ロスを発生させない。</p> <p>(3) 分別の推進</p> <p>① 分別方法を確認しやすいよう、資源入れやごみ箱の前にわかりやすく掲示する。</p> <p>② 各課執務室内のごみ箱を一箇所にまとめ、職員一人一人が分別しやすくする。</p> <p>3 目標を推進する職員の心構え</p> <p>(1) 他の自治体にあるごみ処理施設でごみ処理をしている現状から、職員一人一人自覚をもって減量に取り組むこと。</p> <p>(2) 市内最大の事業所として市民の模範となるべきごみ減量を行う。</p> <p>(3) ごみ減量は、ごみの排出者である職員の行動にかかっており、具体的な取組みを 実行し、減量目標を達成するため行動する。</p> <p>(4) 普段から簡単に取り組める行動を考えること、職場の仲間達でごみ減量のことを話し合う。</p>			